

# 令和7年度全国学力・学習状況調査における

## 北九州市立 引野 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、3年生を対象として、令和7年4月17日（木）に、「教科（国語、数学に関する調査）」、文部科学省が指定した日（4月14日から4月17日の間）に「教科（理科に関する調査）」、「生徒質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査内容

#### (1) 教科に関する調査（国語、数学、理科）

##### 教科に関する調査（国語、数学、理科）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

#### (2) 生徒質問調査

##### 生徒質問調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

### 3. 教科に関する調査結果の概要

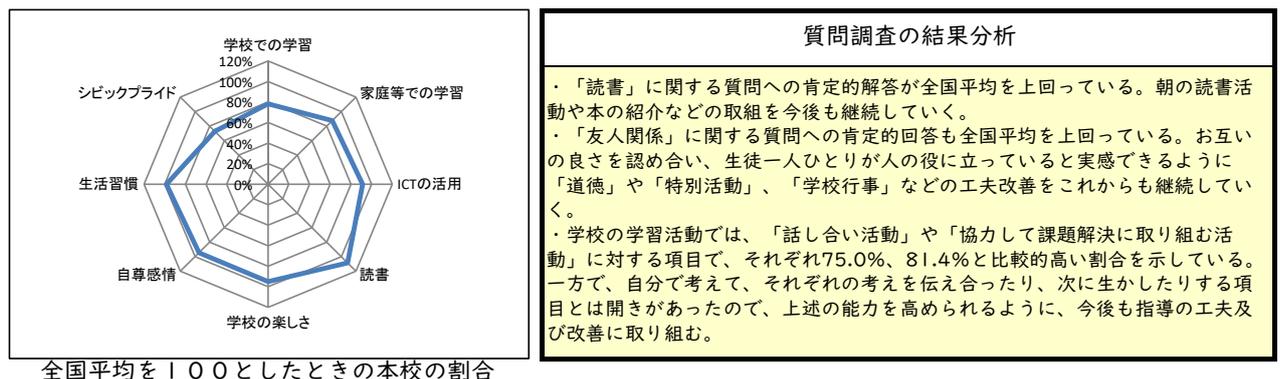
#### (1) 全国・本市の学力調査（国語、数学、理科）の結果

本年度の結果	国語		数学		理科
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均IRTスコア
本市	7.4	53	6.7	45	492
全国	7.6	54	7.2	48	503

#### (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	漢字が苦手、あるいは語句の意味を正確に捉えられていない状況が見受けられる。文を論理構造で読み取る練習を継続していくことが求められる。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	3二 「兄」と「弟」が物語の中でどのような性格の人物として描かれているかを書く	
	努力が必要な問題	2四 発表のまとめの内容をより分かりやすく伝えるためのスライドの工夫について、どのような助言をするか、自分の考えを書く	
数学	全体的な傾向や特徴など	言葉の定義に対する知識の定着度を向上させる必要がある。グラフが指し示すものや、設問の内容を正確に読み取れずに不正解となっている場合があった。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	7(1) Aの手元のカードが3枚とも「クー」、Bの手元のカードが3枚とも「チョキ」でじゃんけんカードゲームの1回目を行うとき、1回目にAが勝つ確率を書く	
	努力が必要な問題	1A 1から9までの数の中から素数を全て選ぶ	
理科	全体的な傾向や特徴など	気圧の仕組みや電流について、それぞれの事柄の関係性に対する理解度を高められるように基礎的な内容の復習が必須である。全体的に記述式の解答を苦手としている。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	2(2) 「Webページの情報だけを信用して考察してよいか」について判断し、その理由として適切なものをすべて選択する	
	努力が必要な問題	2(1) 【考察】をより確かなものにするために必要な実験を選択し、予想される実験の結果を記述する	

### 4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

- ・基礎内容でのつまづき解消のため、基本的な語句の確認や、漢字の復習などを継続して行い、定着を促す。
- ・設問や文章の内容を正確に読み取れるように、文の構造を分解して理解させる。
- ・「まとめ」を記述式の問題に対する解答のような形で書かせることで、自分の考えを伝える力を高める。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・家庭学習時間が全国平均に対して下回っているため、復習の重要性を授業時間などを通して伝えていく。
- ・PTAと連携し、地域で中学生が活躍できる場面を設けているので、地域での活動に対する関心を、より高めていきたい。